

## 江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成23年度第1回 第5分科会（経営、企画分野）
日時	平成23年10月4日（月） 午後1時30分～午後3時50分
場所	江南市市民体育会館 2階 大会議室
出席者	市民委員 太田 靖子、尾関 順久、高津 美佐子、早瀬 裕子、飯島 和代、大前 温子、 奥村 忠、脇坂 康彦
	市職員 大竹 誠、武田 篤司、山田 敏彦、尾関 安巳、小岩 賢三、野村 和典、 脇田 和美、岩田 高志、川瀬 和己
議題	1. 今年度のまちづくり会議について 2. 江南市戦略計画達成状況報告書 及び まちづくり評価シートの達成率の計算方法について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 各分野のまちづくり評価シート及び目標達成状況について 5. 平成23年度第2回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について
資料	資料1 江南市戦略計画達成状況報告書について 資料2 達成率の計算方法について 資料3 まちづくり評価シート 資料4 各分野の目標達成状況 資料5 まちづくり会議のスケジュール

### ◆ 会議結果 ◆

#### 1. 今年度のまちづくり会議について

- 経営企画部長より、今年度の会議では、昨年度検討いただいた「まちづくり評価」に平成22年度の達成状況を踏まえた前期計画期間の進行管理の結果をとりまとめて、「戦略計画達成状況報告書」を作成し、広く市民へ公表していくことなどの説明がありました。

#### 2. 江南市戦略計画達成状況報告書 及び まちづくり評価シートの達成率の計算方法について

- 行政経営課行政マネジメントグループリーダーより、資料1に基づき、今回作成する報告書についての説明がありました。また、資料2については、達成率の計算方法を、目標値と実績値の割合で計算するよう、変更したことの説明がありました。

#### 3. 委員及び市職員の紹介

- 事務局より、変更があった委員として市民委員の脇坂委員、及び市職員の武田委員、小岩委員、野村委員、脇田委員、岩田委員の6名の紹介がありました。

#### 4. 各分野のまちづくり評価シート及び目標達成状況について

- 江南市戦略計画の前期期間（H20～H22）のまちづくり評価及び目標達成状況報告書について、担当課長から説明がありました。各柱に対する意見等は次のとおりです。

#### [柱1]個別目標①市民が地域社会の担い手になっている

- 指標「ボランティア団体及びNPOの数」について、ボランティアは団体に所属している人だけでなく、個人的な活動として行っている人もたくさんいるので、市が把握している（届出がある）

数字だけで表すのは疑問である、という意見がありました。

- ・同指標について、増加しているとはいえ少ししか増えておらず、将来的には減少に転じるのではないかと懸念しているという意見がありました。担当課からは、団体数・人数の減少はこちらも危惧しているところであり、先細り傾向を食い止めるため、何か対策を考えていく必要があると感じている、という回答がありました。
- ・ボランティア団体やNPOの活動に対し、情報提供やアドバイスなどの支援を行う「支援センター」のようなものを市で整備してもらいたいという意見がありました。
- ・市外から優れたボランティアを招待して勉強会を開催するなど、市内のボランティアを育てるための支援を行ってはどうかという意見に対し、担当課からは、現在もボランティア講座を開催しているところではあるが、参加者は20人程度にとどまっているという回答がありました。
- ・老人クラブなどの各種団体では、経費をかけないよう努力しているにも関わらず、時には役員が自腹を切ることもあるという状況である。そんな中、市は補助金の見直しという名目で、それらの団体への補助を減額するケースが出てきているが、これではボランティアは育たないのではないか、という意見がありました。
- ・情報センターの会議室の使用率について質問があり、使用率自体はかなり高いが、大会議室についてはボランティア等ではなく市職員の利用が中心となっているという回答がありました。
- ・情報センターの利用規定（飲食禁止）について、時代に合わせて見直しを図ってほしいという意見がありました。
- ・情報センターのギャラリーを利用していると、すぐ横で市民相談が開かれていることがあるが、プライバシーの問題もあるので、別の場所に変更してもらえないかという意見がありました。担当課からは、市民相談については依頼を受けて場所を貸しているため、こちらの都合で使用を断ることは難しい。情報センターは複合施設であるため、ボランティア団体等にとっては使いづらい面があるのは承知しているが、ご理解願いたいという回答がありました。
- ・指標「アダプト制度の登録割合」の実績値が下がった原因について説明が求められ、規模の大きな団体が1団体抜けたことで、登録者が80人減ってしまったことが大きな理由であるとの説明がありました。
- ・現在のアダプト団体数について質問があり、市の団体が23、県道美化団体が12の計35団体、そのうち最も大きい団体には68人が登録しているという説明がありました。
- ・アダプト団体には市から報酬が支払われているのかという質問があり、帽子等の提供や保険の加入といった支援はしているが、報酬は支払っていないという回答がありました。
- ・今後、ボランティア活動やNPOが発展していくためには、市役所頼みではなく、市民自らがどうすべきかを考えていかなければならないという意見がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

#### [柱1]個別目標②地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

- ・指標「市長への手紙」「市政へのアイデア・提案」の投書件数について、投書件数だけを指標とするのではなく、「投書により改善された割合」という視点も必要ではないか、という意見がありました。担当

課からは、建設的な提案についてはできる限り取り入れるようにしているが、投書全体から見るとそういった提案は非常に少なく、大半は迅速に対応することができない道路整備などの要望や、苦情であることから、「改善した割合」を数値化することは難しいと考える、との回答がありました。

- ・市長への手紙等について、投書すれば回答は必ずもらえるのかという質問があり、匿名の投書や回答不要と明記されているもの以外は必ず返事を出しており、また、本人に返事をしない場合でも、投書の内容に対する回答を作成するようにしているとの回答がありました。
- ・市長への手紙の内容及び回答について、市民に公開しているのかという質問があり、全てではないが代表的なものをホームページや広報に掲載しているという回答がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

### **柱全体のまちづくり評価**

- ・柱全体の得られた成果、今後の課題、今後の取り組みの方向性については原案で了承されました。

### **各分野の目標達成状況**

- ・まちづくり評価シートを踏まえ作成した、主な取り組み、主な成果、主な課題の内容については、原案で了承されました。

## **5. 平成23年度第2回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について**

- ・第2回、第3回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第2回> 10月19日（水）午後6時00分～

<第3回> 10月25日（火）午後6時00分～